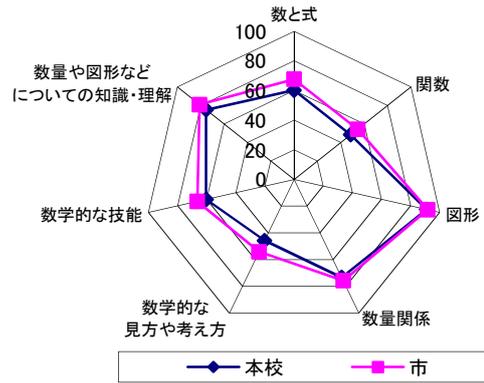


宇都宮市立国本中学校 第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	60.2	67.6
	関数	48.4	54.4
	図形	91.0	91.7
	数量関係	73.4	75.8
観点別	数学的な見方や考え方	45.8	54.2
	数学的な技能	60.4	66.6
	数量や図形などについての知識・理解	75.4	81.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	市の平均正答率より7.4ポイント下まわっている。特に正負の数で基準を定め、平均や差を求める問題の理解ができていない。計算力も低い。	基礎的・基本的事項の反復練習を重ねるとともに、根気強く計算問題に取り組むもうとする姿勢を育てていきたい。
関数	市の平均正答率より6ポイント下まわっている。表を読み取り、比例の式を求めることができていない。	関数を苦手としている生徒が多いと感じられる。身近な事象から関数関係を見だし、その意味を考えながら理解させていくような指導をしていければと考えている。
図形	市の平均正答率より0.7ポイント下まわっている。しかし、他の領域よりは理解がされているように思える。	来年度には、さまざまな定理や公式を学習するため基本的な知識を身につけさせ、それらを用いて問題を解けるように指導をしていければと考えている。
数量関係	市の平均正答率より2.4ポイント下まわっている。組み合わせの通り数を求める力が十分ではない。	比較的日常生活に使われている領域だと考えられるため、そのことを利用し、学習させられるような指導を行いたい。